

伊予市総合計画について

問

一・新市建設計画を基に実施計画書が策定され、総合計画が決定されると確実に実施されるか。

二・中山コミュニティセンターが整備建設されると期待しているが、考えを伺いたい。
三・四国縦貫道中山インターチェンジの新規開設開通ができるまで、長期的課題として取り組んでいただきたい。

答

中村市長

一・総合計画は、基本構想と基本計画から構成されており、さらに現在具体化の実施計画を作成中である。

基本構想は、伊予市のまちづくりの基本方針であり、あ

井上 正昭 議員



らゆる計画の最上位計画となるものである。

今回定めた計画は、平成二六年度までを計画期間と定めて実施していくものであるが、社会経済情勢の変化や市民のニーズ・財政需要など、行政はもろもろの需要に対応していかねばならない。そういった状況・変化を見きわめながら、適正な時期に見直しを行う必要がある。特に、実施計画については、情勢変化を的確に見きわめ、当然に見直しの変更が生じるものと考



中山地域中心地

二・中山地区においては、既に数多くの公の施設が設置されており、これらをいかに効果・効率的に管理運営をしていくかが現状の課題である。庁舎・農業総合センター・中央公民館・健康センターなどの機能を総合的に考えていく必要があると認識している。コミュニティセンターは建設計画の中にも掲載されているが、次々新しいものをつくるばかりではなく、まず既存の施設をどうするか、十分協議し、その上でどうしていくかを判断して、提案をいただきたい。



農業総合センター

三・計画は、旧中山町の思いを引き継ぎ、昨年、今年と県知事陳情に重点要綱として要望したが、実現には厳しい課題が多くある。

例えば、インターチェンジの建設には、利用台数や経済効果が確実に見込まれなくてはならない。そのためにも、まず地域の活性化と、地域間交流施策を確実なものとして、交流人口をいかに増加させるかが重要になってくる。

そうした観点で、地域においても、なお新しいまちづくりの施策を考えていただき、地域と行政が一体となって検討を進めていきたい。



◆議会を傍聴しませんか◆

定例会は三月・六月・九月・十二月の年四回開催しており、どなたでも傍聴できます。

三月定例会の日程は、広報「いよし」三月号に掲載されますので御参照ください。

◆会議録が御覧になれます◆

本市に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知らせになりたい方は、会議録(三月上旬発行予定)を御覧ください。

なお、会議録は、議会事務局のほか図書館、各公民館に備えております。